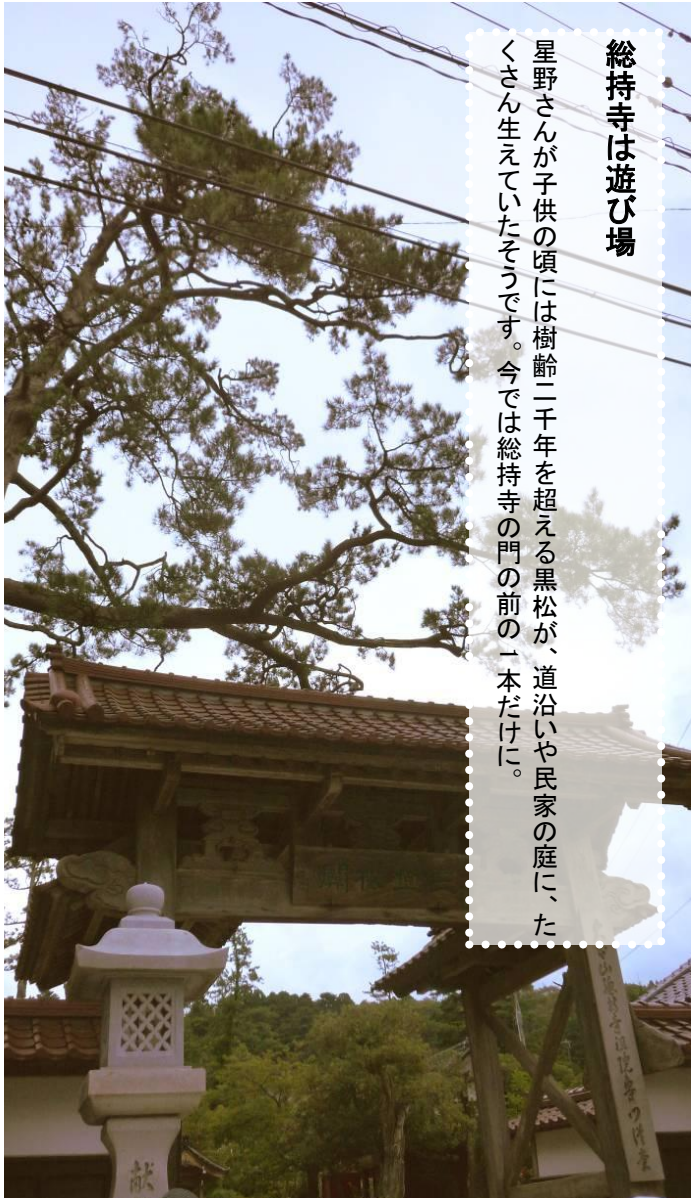


# 総持寺通り通信

第12号 総持寺通り商店街発行



## 総持寺は遊び場

星野さんが子供の頃には樹齢二千年を超える黒松が、道沿いや民家の庭に、たくさん生えていたそうです。今では総持寺の門の前の一本だけに。

## 三十三番札所めぐりと寺内散策レポート

2010年9月19日に「総持寺・三十三番札所めぐりと蔵コンサート」が開催されました。

事前にファン倶楽部内で希望者を募り、集まった10人の会員で総持寺境内の札所を巡り、参拝道を行います。野趣あふれる参拝道には、各札所の仏様が静かに佇んでおられました。



ほっと石川観光マイスター  
星野正光さん  
(能登手仕事屋店主)

家業のかたわら、能登の山野を歩き、その魅力を伝える語り部として活躍されています。

案内をして下さった、ほっと石川観光マイスターの星野さんによる、明るく軽快な語りで、参加したファン倶楽部のメンバーは総持寺の隠れた魅力を堪能された様子でした。  
中でも、総持寺祖院境内に安置されている、太照常濟師瑩山禅師初め、星野さん自身も初めて見るこの叶ったという仏面に、訪れたファン倶楽部の会員も感嘆した様子で魅入られていました。

## 首山とは？

総持寺祖院境内後方のうっそうとした森林に覆われている山を首山といい、法堂(大祖堂)、伝燈院、慈雲閣(観音堂)、放光堂(納骨堂)、などの伽藍の背景となっており、その荘厳さをいっそう増しているが、この首山には南側の不動堂側から上がって、北側の慈雲閣まで通ずる道があり、ここに西国三十三番の札所が順次祀られています。



## 能登半島沖地震で倒れた石碑

能登沖地震で倒れたままだった石碑ですが、来年もこの場所に戻る予定です。



## 蔵コンサート

総持寺・三十三番札所めぐりをしたのち、参加したファン倶楽部のメンバーは、星野さんのお店「手仕事屋」で昼食をとり、自慢の手打ち蕎麦と豆腐を頂きました。

昼食が終わると一行は禅の里交流館を見学。門前の歴史に触れたのち、交流館内にある旧酒井家の蔵へ移動。ティータイムを取ってから、マリンバ演奏及び、語り部による口演に耳を傾けました。

参加費一人2千円(昼食代込み)



## 総持寺通り通信

第12号 総持寺通り商店街発行

### 本当に蔵！？

能登震災にも耐えた蔵を多目的ホールとして利用。普段は味わうことのできない蔵の中、聴き馴染みのある語りや音楽も、普段とは一味違うものに感じるのでは？



### 旧酒井家住宅及び土蔵



平成十七年に旧門前町により、輪島市指定文化財に指定されました。

明治時代は「酒井商店」という呉服を取り扱う商家で、現在でも町家の典型的な意匠が残っています。

優雅な張り出し縁のある和室や各部屋に続く床の間など、詳しくは禅の里交流館にて。

### 秋晴れの門前に響く

### 音色と語り

蔵コンサートは禅の里交流館旧酒井家蔵で開かれ、マリンバの暖かい音色と、優しい語り口の方言による民話に来場者から惜しめない拍手が送られました。

マリンバの演奏を行った竹宮さんは東邦音楽大学音楽学部打楽器専攻を卒業しており、数多くのコンサートに出演されています。

語り部は能登町在住で、「とんと昔の会」の千徳婦美子さんと、小さい頃にお父様に話してもらったという「猿鬼伝説」とお経になつたネズミの2つのお話をして下さいました。



語り部の千徳婦美子さん(右)

マリンバ奏者の竹宮純子さん(左)

